

ウィルコン・デポ

—— 中上 裕介

Wilcon Depot Inc

業種：一般消費財

●フィリピン最大のホームセンター

ウィルコン・デポ(以下、同社)は、大手ホームセンター。主に住宅建材や家具、家電、工具、日用品などを取り扱っている。1977年、ケソンアベニュー(マニラ)の60平方メートルの1つの小さな店舗から始まった同社は、現在、主に面積10,000平方メートル規模の大型店舗であるデポ(倉庫、販売・物流拠点の意)型の店舗展開を採用し、国内80店舗を有するフィリピン最大手のホームセンターとなった。(2022年9月末現在)

フィリピン証券取引所への上場は2017年で、同業種で上場するのは同社が最初。IPOで得た資金の多くを新規出店の費用に充てるなど、積極的な店舗展開を行っており、2025年までに100店舗を目指すとしている。19年にはネットショッピングサービスを開始しており、より良い製品とサービスを提供し、顧客満足を高めることを目標ととしている。

●3Q大幅増収増益 行動規制解除に伴い消費が拡大

2022年第3四半期決算は、売上高が前年同期比32.6%増の87.8億ルピア、純利益は同、77.5%増の11億ルピアと大幅な増収増益。新型コロナの影響で打撃を受けていた首都圏店舗の売り上げが回復したことに加え、当該期間中にオープンした4店舗の売り上げ寄与が主な理由。また、利益率の高い自社製品の売上高比率が49%から51%に拡大し、それに伴う粗利益率の改善も収益の拡大に寄与した。

●新規出店計画は順調 ターゲットを絞った出店も

同社は、主力展開するデポ型店舗の他、モール型店舗の小売店「Home Essentials」(以下、エッセンシャルズ)を持つ。こちらは、日本の一般的なホームセンターに近く、プロ向けの店舗形態である“デポ”より一般消費者に親しみやすい店舗となっている。今期の新規出店の実績は、9月末時点で7店舗(通期の出店目標は8店舗)、内1店舗がエッセンシャルズだ。同部門の売上高に占める割合は、21年度実績で約2%と存在感は薄いですが、ターゲットを絞った同社戦略の今後の展開に注目したい。

フィリピン国内における消費は良好で、コロナ禍からの反動も消費押し上げに寄与すると考える。世界的な景気減速懸念や金利の上昇、インフレ、通貨安は気になるところではあるが、同国の発展とともに同社の成長も期待できよう。

株式データ

2023/1/3 現在

株価	29.60ペソ
売買単位	100株
時価総額	1,213億5,183万ペソ
予想 PER	32.93倍
ROE	20.10%
52 週高値	33.40ペソ
52 週安値	21.05ペソ

業績推移

【連結】

決算期	売上高	前年比	純利益	前年比	1株利益	1株配当
'19/12	24,476	16.33%	2,125	15.80%	0.52	0.16
'20/12	22,629	-7.55%	1,449	-31.81%	0.35	0.18
'21/12	27,513	21.58%	2,561	76.74%	0.62	0.12

単位：百万ペソ、ただし1株利益、1株配当はペソ、配当は支払い年

※1株配当は株式分割・併合等調整済み、経常収入は配当収入、関連会社収益を除く

株価チャート(週足2022年1月7日～2022年12月30日)



[出所：株式データ、業績推移、株価チャートともにブルームバーグ等、アイザワ証券作成]

その他



[出所：同社年次報告書、Bloomberg を基にアイザワ証券作成]

金融商品取引法に基づく表示事項

■ 本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

外国株投資の主なリスクと留意点

株価・為替の変動リスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。外国株式は、為替の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

流動性リスク

流動性が低い銘柄の場合、市況または注文の規模により、望ましい価格での売買注文の執行が常に可能とは限らず、極端な場合、取引ができないことがあります。

カントリーリスク

投資対象国の経済的要因、政治的要因、社会情勢の混乱により、株式市況が影響を受けることがあります。また、各国の慣習や文化などの違いにご注意ください。

お客様にご負担いただく手数料等について

外国証券の外国取引にあたっては、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます（最低手数料は買いの場合のみ 5,500 円）。

対面口座： 売買代金の一律 2.20%

インターネット口座「ブルートレード」： インターネット発注 売買代金の 1.65%、コールセンター発注 売買代金の 1.98%、コンサルネット発注 売買代金の 2.20%

外国証券の売買等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。お取引の際は、契約締結前交付書面等をよくお読み下さい。

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはアイザワ証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE 公式アカウント はじめました！

ベトナムを中心とした
アジア情報をお届けします
[友だち追加はこちらから！](#)



ID: @aizawa